

タレント

かめ やま ふさ よ  
亀山房代さん



プロフィール

1967年、三重県名張市生まれ。相愛女子短期大学卒業。在学中に吉本興業の芸能学校入学。22歳で里見まささんと漫才コンビ「まさと・亀山」を結成し、正統派漫才で人気を集める。上方漫才大賞・奨励賞(95年)、上方お笑い大賞・金賞(97年)、上方漫才大賞・大賞(98年)受賞。01年にコンビを解消したが、この間、心斎橋2丁目劇場で10代の性教育を題材にしたコントをスタート。これが講演活動に発展し、今も続いている。現在は、NHKテレビ「ぐるっと関西お昼前」のキャスターとしてレギュラー出演中。



2005年10月 大阪市立城北市民学習センターでの講演風景(写真撮影:編集部)

# 全国区めざす亀ちゃん

## "悩む子どもをほっとけん"

元 ザ・ぼんち の里見まささんと漫才コンビ「まさと・亀山」を組み大活躍した亀ちゃんこと亀山房代さんが、結婚・出産のためコンビを解消してまもなく5年目を迎ようとしている。亀山さんは現在、月曜日から金曜日のNHK総合テレビ「ぐるっと関西お昼前」にキャスターのひとりとして出演中。一方で、実は漫才時代から続けていた中学生や高校生向けの講演「ティーンズのための正しい性教育」や、結婚後に加えた「これが私の生きる道」と題した大人向けの講演でもひっぱりだこののだ。

性教育の講演は、低年齢化が言われている性の問題をテーマに、「若者の近くにいるお姉ちゃんとしての亀ちゃんが、思春期の心と体のことを先生や親とは違う視点で話す」というもの。また「これが私の生きる道」は、自身の出産や結婚、仕事の経験などを柱に、子ども達への接し方や、日常生活にプラスとなる話題などを盛り込んだ講演だが、「また明日から頑張れるとか、生きる勇気もらった」という話をいただいたりします」という好評ぶりだ。

### 木村元常務の一言でタレントに

漫才で数々の受賞歴を持つ亀山さんだが、吉本興業の芸能学校入りしたのは「お笑い芸人になりたいからとちごうて、はやりのジャズダンスを習いたかったから(笑)」。だが入学した年は、なんば花月が新築の吉本会館に引っ越してなんばグランド花月となった年で、授業が休講がちだったという。そこで始めたのが、心斎橋2丁目劇場での切符のモギリや庶務などのアルバイト。これがきっかけで、吉本興業に入社することになる。

亀山さんの進路はふたつ。社員としてマネジャーなどの裏方となるか、タレントをめざすかだ。「上司には裏方を勧められていたし、ダウタウンさんのマネジャーなんかいいなと思っていた」という。だが「君はタレントになりなさい」と言う、当時常務だった木村政雄さん(現フリープロデューサー)の一言で、タレント街道へ。さすが木村さんの眼力はすごい。亀山さんは十数年で、漫才師として最高の賞を得るまでに登りつめるのである。

ところで、亀山さんが「10代の性教育」の講演を思いついたのは、漫才デビューして1、2年後のことだ。あるラジオ番組で、リスナーの女子高校生から「妊娠してしまった」というハガキを受け取ったのがきっかけ。「性の乱れや、悩む子どもたちの多いことを知り、何とかせなあかんと。吉本の若手を集めて、「精子君と卵子ちゃん」みたいなコントをはじめました。ほっとけん性分なんです」。やがて、評判を聞いた学校関係者や保護者団体などから講演依頼が舞い込むようになり、亀山さん単独での講演が確立するのである。

来るべき新年への夢は、「この“10代の性教育”で全国区をめざすこと」ときっぱり。そして、「黒柳徹子さんやアグネス・チャンさんのような社会貢献活動をするでも知られるタレントに、吉本初でなりたいので、力の限りがんばります!」と目を輝かせていた。

(文・脇本勤 / 表紙写真・水谷正厚)